

令和6年度「読書県しずおか」づくり表彰 優秀実践

■ 学校名

静岡県立三島南高等学校

■ 所在地

三島市大場608

■ 基本データ

校長氏名	鈴木 久美子
担当者名	川口 有里
電話番号	055-977-8333
児童・生徒数	586名

活動実績

- ① 全校一斉読書、朝読書ウィークの実施
- ② 図書委員が主体となったブックフェアの開催
- ③ 授業等と連携した読書活動の推進
- ④ 部活動や委員会、公立図書館と連携した活動やイベントの実施

■ 活動の特色

- ・読書週間(各学期1回)、朝読書ウィーク(年2回)を設け、読書時間を確保した。朝読書は他委員会とも協働し、図書委員生徒が運営した。
- ・図書委員自ら選んだ本のポップを作り、「図書委員のおすすめ本」として配架した。
- ・教科(国語)と連携し、ビブリオバトル及びポスター制作を実施した。また、総合的な探究の時間における分野ごとの推薦図書展览展示するとともに、県立中央図書館の電子書籍の活用を促した。
- ・JRC部と連携した古本市や、報道部による図書館フォトコンテストを開催した。また、函南町立図書館と連携し、高校生による子どもへの絵本の読み聞かせを行った。

■ 活動の成果

- ・一斉読書の時間を増やしたことにより、生徒の読書量が増加した。生徒自身が運営することにより自覚が生まれ、読書への意欲が高まった。
- ・図書委員自ら本を選定・配架・紹介することで、生徒の興味関心が広がり、図書館利用者の増加につながった。
- ・ビブリオバトルやポスター制作を通して、本の魅力、図書館の魅力を「見える化」することにつながった。本や図書館に親しみを持つ生徒が増え、図書館を利用する生徒及び本の貸出も増加した。
(R4: 1人当たり2.2冊 → R5: 3.4冊)
- ・学問探究のための専門図書の展示や県立中央図書館電子書籍の活用により多様な資料に触れる機会を作り、生徒の学びの幅を広げることができた。
- ・函南町立図書館と連携し、生徒による絵本の読み聞かせイベントを実施したことで、参加した親子連れにも喜ばれ、地域貢献にもつながった。



写真1

図書委員生徒が作成したポップの一例

■ 学校図書館の状況

「学校図書館活用計画」の作成	○ 「学校図書館図書標準」の達成	✓
新聞の配備	○ 推薦図書の選定	○
図書資料のデータベース化	○ 館内のインターネット利用環境	○
司書教諭の発令	○ 司書教諭の授業時数の軽減	×
学校司書の配置	○ 校内研修(学校図書館の活用)の実施	×
公立図書館との連携	○ 読書ボランティアとの連携	×



写真2

生徒による図書選定会の様子



写真3

図書館での読み聞かせの様子